



鹿児島県の石文化の創出を目指して

前迫石材株式会社

代表取締役 前迫栄二郎

当社は1936年(昭和11年)に川辺郡大浦町にて、前迫初實が墓石専門店として創業しました。1958年に鹿児島市に進出し、1979年、1号用地に工場新設移転後は、土木・建築用石材を中心に県内に数多く石造物を残してきました。主な施工例として、「若き薩摩の群像台座」「中央公園整備」「鹿児島県工業技術センター壁面・床面」「高麗橋移設復元工事」等があります。創業者の前迫初實は常に技能の向上を目指し、石工として労働大臣表彰(現代の名工)を受賞し、その卓越した技能は高く評価されました。現在、その遺志を継ぎ、二代目前迫実社長のもと、職人の勤だけが頼りの世界だった石屋で若い人を熟練工に育てられるシステムづくりをしようと社員全員で取り組んでいます。2000年12月には、原石から製品出荷までの自社で行う体制をとっている会社としては、この業界で日本初となるISO9002を取得しました。

【品質方針】は、「お客様の喜びを通じて、地域の石文化を創出する」を掲げ、

【会社目標】には、

1. 顧客のニーズに確実に応えられる様、石工の質的向上をはかる。
2. 素材の持ち味を活かしつつ、品質と生産性の向上に努める。

を掲げております。

さて、鹿児島県工業技術センターとの関わりは、鹿児島県内のさまざまな工芸分野の企業でつくられた異業種交流の研究会である「さつま工芸会」に参加させていただいたところから始まります。入会当時、単一的な製品づくりに追われる事が多くなっていた職人にとって、手作りの工芸品をつくる事の喜びを与えてくれるものとなりました。その後の工芸会展を経験し、丁寧でオリジナルの物づくりを目指す上で、大いに役立っているところ

です。

今年の10月には、屋内展示場(maesako creative stone)のオープンとISO9002取得を記念して、自社工場敷地に於いて、ストーンフェアを開催致しました。展示品は、墓石・住宅ガーデニング材・庭燈籠・土木関連商品・石工芸品・キャラクター石商品等で、県内初の総合石材展として、好評をいただきました。なかでも、さつま工芸会特別展における、さまざまな異素材の組み合わせからなる作品は、大いに興味をもたれ楽しんでいただきました。

近年、公共工事の減少の続くなか、当社も民間工事(特にお墓)、個人向けの工事や商品にも力を入れていきたいと思っております。

そのためには、ニューデザインの商品開発と技能の向上が最も重要な要素であります。今後もストーンフェアや、工芸会展を通して、新製品の紹介や提案をしてみたいと考えておりますので、鹿児島県工業技術センターデザイン・工芸部の皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。



展示場の外観

